



キャピン



新しい年が始まったも まだまだ大変な毎日だけど

何か楽しい事を見つけて Enjoy したいですね!!

我慢している沢山の事 一日でも早く出来る事を祈って。

的中率を上げるぞ〜。(不調が続いているけど P〜?)

負けずに1年頑張ってくださいうねくたすネ>

TWELVE

Douze

英語で「12」は 'twelve'

英語の授業でほぼ初めに習うから今まで疑問に思わなかったが、「13」からは thirteen, fourteen, fifteen... と規則的になるのに、なぜ「11」 'eleven' と「12」 'twelve' は '-teen' でないのか。

調べると、11は「1余り」、12は「2余り」の意味の「ゲルマン祖語」が語源という。指は10本しかないのに、「12」まで数えたかったのだろうか。

「12」といえば、時計、1年の月の数、1箱の鉛筆、十二支、占星術...とよく見かける数である。

古代の人々は太陽と月の動きを観測して、1年の暦を見出した。1ヵ月は約30日、1年は365日だが、切りの良い数で1年=30日×12ヵ月=360日とすれば「360」は2,3,4,5,6,8,9,10,12...と様々な分割でき、便利である。こうして太古の知恵が時間や角度の単位として、現在まで利用されている。広大な宇宙の規則・普遍性が人類の実用的な数字に結びついているのは感慨深い。

そういえば、ドレミファソラシ、「音階」は7つのように思えるが、半音を考慮すれば①ド ②ド# ③レ ④レ# ⑤ミ ⑥ファ ⑦ファ# ⑧ソ ⑨ソ# ⑩ラ ⑪ラ# ⑫シ...「12」である。偶然なのか?

これはなんと「三平方の定理」で有名なピタゴラスに由来するといふ。彼は万物の根源は数であると考えた。

NHKの時報の音、「ポッ、ポッ、ポッ、ビー」の周波数は「440Hz、440Hz、440Hz、880Hz」で、音階でいえば「ラ、ラ、ラ、(1オクターブ上)のラー」...1オクターブ上は2倍の周波数だ。

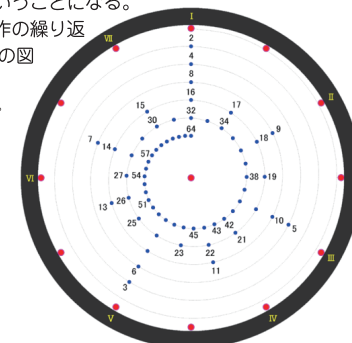
ギターは弦とフレットを思い浮かべると、1オクターブ上の音はちょうど半分位置にフレットがある。

では(ブリッジから)3分の2の位置にあるフレットは?そう7フレット、ラの弦ならミ、5度上だ。周波数は1.5倍。5度音程の2音(ドとソ、ラとミなど)がとても心地よくハモるのは言うまでもない。

「2」「3」と簡単な比率関係にあるということは、響きが良い、「協和」する関係にあるということになる。

このような簡単な数字の操作の繰り返しで12音階が得られる。右の図はそれを表しているようだ。

音階が12個なのはシンプルな理由とわかった。では「ドレミファソラシド」がなぜメロディーに聞こえるのか?和音はなぜ感情を表現できるのか?それはまたの機会に。



Harmonic Overtones referenced from Wikipedia



稲荷寿司 おいなりさんについて

なぜ「おいなりさん」と呼ぶのでしょうか、疑問と好奇心で調べました。

〜稲荷寿司の語源は、稲荷神の使いである狐の好物に由来する〜



「稲荷 (いなり)」とは、稲をつかさどる神様の「倉稲魂神 (うかのみたまのみかみ)」のことで、倉稲魂神の使いは「狐」です。狐の好物は、古くは「ネズミの油揚げ」とされていましたが、殺生を禁じた仏教の影響もあり、「稲荷神 (いなりしん=倉稲魂神)」には、かわりに豆腐の油揚げが供えられました。

狐の好物は現在のように「豆腐の油揚げ」となり、これにすし飯を詰めたお寿司を「稲荷寿司」「おいなりさん」「お稲荷様」と呼ぶようになりました。

稲荷神社の神様のことを「お稲荷様」などと呼んでいますが、正式名称は、「宇迦之御魂大神 (うかのみたまのおおかみ)」です。倉稲魂命 (うかのみたまのみこと)とも記します。

お稲荷さんとは、宇迦之御魂大神という稲作・農業の神様で、キツネはその眷属 (神の使い) だったんです。厳密には、キツネ自体を神とする信仰もありますが、本来は「お稲荷さんの眷属」だということを覚えておくとうまいかもしれません。

狐はお稲荷さんの使いとして、全国の稲荷神社に鎮座するキツネの像。よく見ると、口に何かをくわえています。例えば稲束、鍵、巻物、宝珠などをくわえたキツネを見たことはありませんか?これらにはそれぞれ意味があります。

- 稲束は、五穀豊穣に関連すると分かりますね。
鍵は、蔵の鍵だそう。富貴、豊穣、諸願成就を表します。
巻物は、仏教の経典です。
宝珠は、諸願成就の象徴です。

他にも、キツネはさまざまな宝具をくわえています。お近くにある稲荷神社のキツネが、何をくわえているのか確認してみてください。



MY

最後にコロナウイルスが一日も早く終息できますように...!

よもやまばなし

如月:金盞花の間

今回の金盞花の間は探究心であふれています。『興味をもって調べる』ってとっても素敵な事!この時期お家でじっくり(だらだら)と色々検索して、趣味を増やすのもアリですね。ステイホームが終わったら豊川でカラフルなおいなりさんを食べて、カラオケでハモりましょう♡



春寒し 命大事の 何はさて